

## 漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	漂砂
相談タイトル	浚渫土砂の有効利用について
相談者	福島県
相談内容	<p>・「浚渫土砂の海洋投入処分に係る漁場環境影響評価ガイドライン」（平成18年6月水産庁漁港漁場整備部）P.3では、浚渫土砂の有効利用についての記述があります。浚渫土砂の有効利用のうち、特に沖合の漁場で有効利用を図り、漁場改善、改良を図った事例、これに伴う海洋環境への影響、課題等について、ご教示いただきたい。</p>
相談会の結果（R03.8.3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浚渫の事例を紹介。この中で、浚渫土砂量の削減に関する取り組みや発生土量、浚渫土砂の有効利用、海洋投入処分以外の方法による処分量、海洋投入処分量の記載について説明した。海洋投入処分以外の方法には、ケーソンの中詰め材や養浜材としての利用もある。</li> <li>・ 環境省のHPに、海域における土砂類の有効利用として、指針や留意事項、国内事例の調査報告等が掲載されているので、参考にすると良い。</li> <li>・ 漁場への有効利用として、二枚貝漁場・浅場の造成、沈下場所の埋め戻し、マウンド形成、底質改善のための覆砂等の手法が考えられる。</li> <li>・ 漂砂の移動限界水深より沖まで港口を伸ばせない以上、ある程度の港内埋没は避けられず浚渫が必要となる。サンドポケットやサンドリサイクル等の工夫次第で、浚渫工事のしやすさ、浚渫量、時期、間隔が調整出来るようになり、コストダウンが図れるかもしれない。機能保全計画をたてて、計画的にLCCの低減を進めると良い。</li> </ul>
相談会後の検討状況	